

# 令和5年度 事業報告書

## I 事業報告

令和5年度の本財団の事業、収支および人事については次のとおりである。

### 1 事業・収支等の概要

#### (1) 令和5年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会等の開催

##### ア プログラム責任者講習会

当財団主催、文部科学省、公益社団法人日本歯科医師会の後援及び一般社団法人日本歯科医学教育学会、一般社団法人日本医学教育学会の協力を得て、厚生労働省実施要綱に基づき、第1回は令和5年9月9日～11日の3日間、第2回は令和5年12月16日～18日の3日間、計2回開催した。

なお、今年度は感染予防対策を理由として、オンライン講習会とした。

##### イ 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会

11歯科大学、日本歯科医師会、県歯科医師会等で、計14回開催した。  
当財団は共催として参加した。

##### ウ 歯科衛生士専任教員講習会

当財団及び全国歯科衛生士教育協議会主催で、計2回、歯科衛生士学校養成所の教員を対象に開催した。

#### (2) 歯科医師臨床研修マッチング事業の実施

令和5年6月13日から参加登録を開始し、同年10月11日に希望順位登録を締め切り、同年10月24日結果発表を行った。

#### (3) 第33回歯科衛生士国家試験の実施

令和5年3月3日（日）に受験地10都道府県、11試験会場において実施し、同年3月26日に合格者7,346名を発表した。合格率は92.4%であった。

#### (4) 歯科衛生士免許登録事業の実施

令和5年度の免許登録件数4,884件、書換え交付件数5,004件、再交付件数449件、抹消1件であった。

#### (5) 令和5年度歯科技工士国家試験の実施

令和6年2月18日（日）に全国5試験会場において実施し、同年3月26日に合格者799名を発表した。合格率は95.7%であった。

(6) 歯科技工士国家試験制度改善検討部会の実施

令和5年5月に日本歯科技工士会および全国歯科技工士教育協議会から厚生労働大臣あてに歯科技工士国家試験の改善検討に係る要望書が提出された。

この要望書を踏まえた厚生労働省の要請に基づき、同年7月から本部会で検討に着手した。また、本部会の下に令和5年8月にワーキング委員会を設置し、今後の実地試験のあり方等について具体的な調査・審議を開始した。

(7) 歯科技工士免許登録事業の実施

令和5年度の免許登録件数548件、書換え交付件数244件、再交付件数105件、抹消9件であった。

(8) 令和5年度収支状況

経常収益では、基本財産のユーロ債がトリガー条項により期限前償還となったため運用益が減額となった。

歯科衛生士国家試験受験者数の増により歯科衛生士受験手数料の増額となったが、歯科技工士国家試験受験者数は減となったため歯科技工士受験手数料は減額となった。また、今年度は2年に1度の業務従事者届の年ではなかったため歯科衛生士・歯科技工士登録手数料が減となった。

経常費用では、歯科技工士国家試験制度改善検討部会等が行われたことにより役職員旅費、委員手当等が増額となった。

2 人 事

(1) 評議員の任期満了に伴う選任（令和5年6月30日付）

新	旧
大久保 力 廣	一 戸 達 也
末 瀬 一 彦	尾 松 素 樹
寺 島 多実子	三 代 知 史
福 本 雅 彦	櫻 井 孝

(2) 理事長の交代（令和5年6月30日付）

新	旧
羽 村 章	三 浦 廣 行

(3) 理事の任期満了に伴う選任（令和5年6月30日付）

新	旧
宇田川 信 之	本 田 和 也

櫻 井 孝  
藤 田 一 雄

三 浦 廣 行